

経営課題3

地域で支えあう安全で安心なまちづくり

区内地域の災害図上訓練(DIG)の様子



区内地域の防災訓練のようす

区内地域を巡回する青色パトロールカー

めざすべき将来像（概ね10～20年間を設定）

- ・ 災害に対する備えが充実している
- ・ 住民同士が助けあう体制が整っている
- ・ 区民が安全で、安心に暮らせる

現状・データ

- ・東部の低湿地帯である旧大和川流域に属し、標高1～2mと区域全般に低く平坦で、河川が多く大雨による浸水被害を受けやすい地理条件にあるとともに、南海トラフ巨大地震発生時にも、浸水被害にあうとされている。
- ・犯罪発生率（人口1000人あたりの刑法犯罪認知件数）の低さにおいて、ここ10年にわたり24区中上位3位を保っているが、空き巣や車上狙い、女性や子どもを狙った犯罪などが今もって少なからず発生している。

H26区民モニター：自主的な防災活動に参加したことがある区民の割合 (単位：%)					
問10	1. 参加したことがある	2. 活動は知っていたが、参加したことがない	3. 活動していることを知らなかった	無回答	
全体	23.9	37.0	36.4	2.7	
年代別	20歳代以下	12.9	29.0	58.1	0.0
	30歳代	9.7	35.5	54.8	0.0
	40歳代	19.4	32.3	46.8	1.6
	50歳代	20.0	40.0	40.0	0.0
	60歳以上	36.3	40.7	17.0	5.9

H26区民モニター：参加したいと思う取組（現在参加している方も含む）（複数回答） (単位：%)								
問15	1. 子ども見守り活動	2. 歳末時などの夜警	3. 青色防犯パトロール	4. 各種防犯キャンペーン	5. こども110番の家	6. 参加したくない	無回答	
全体	36.7	21.8	10.0	25.2	21.2	23.6	2.7	
年代別	20歳代以下	32.3	6.5	3.2	25.8	32.3	29.0	0.0
	30歳代	46.8	9.7	4.8	19.4	25.8	22.6	0.0
	40歳代	32.3	11.3	8.1	19.4	25.8	22.6	1.6
	50歳代	27.5	27.5	2.5	30.0	12.5	35.0	0.0
	60歳以上	37.8	34.1	17.0	28.9	17.0	20.0	5.9

分析

- ・区民モニターにおいて、自主的な防災活動に参加したことのありと回答した方の割合が23.9%あり、その中で30歳代は9.7%と低い。
- ・地域での防犯活動に参加したいという方の割合（複数回答あり）が、子ども見守り活動で36.7%、青色防犯パトロールが10%と低い。

課題

- ・災害発生時には、地域住民による自主防災組織が重要であるが、現在その組織の構成員や防災訓練への参加者は高齢の方が多い。組織の持続のための若い年齢層の参加促進や、災害発生時の避難行動要支援者（高齢者や障がい者等）に対する取り組みが必要である。
- ・街頭犯罪件数については、減少傾向にあるものの、引き続き街頭犯罪の抑止に取り組んでいく必要がある。

【戦略3 - 1】

防災に対する住民意識の向上と、自助・共助を基本とする地域防災力の向上

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・住民各自が日頃から災害に対する備えを行い、災害が発生しても、避難行動要支援者（高齢者や障がい者等）を含めた地域の住民同士が助け合い、安全な環境で避難所を開設・運営する。

《成果目標》

- ・区民モニターで、地域が防災活動に取り組んでいると思う人の割合を平成29年度末までに60%にする。

戦略

- ・災害に強いまちをめざして、区の防災拠点を整備するとともに、避難所開設訓練や図上訓練等、地域で開催される各種防災訓練の充実を図る。さらに、子育て世代向けやマンション住民向けの防災講座を開催し、幅広い層の住民の防災意識の向上を図る。
- ・避難行動要支援者（高齢者や障がい者等）を対象に、地域との情報共有を進める。



用語解説

避難行動要支援者

要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦、児童、傷病者、外国人など、特に配慮を要する者）のうち、自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者を避難行動要支援者といい、次のような状態の人々が該当します。

- ・移動が困難な人。
- ・日常生活上介助が必要な人。
- ・情報を入手したり、発信したりすることが困難な人。
- ・急激な状況の変化に対応が困難な人。
- ・薬や医療装置が常に必要な人。
- ・精神的に著しく不安定な状態を来す人。
- ・言語、文化、生活習慣への配慮が必要な人。

避難行動要支援者について、これまで「災害時要援護者」と表記していましたが、平成25年6月の改正災害対策基本法において、新たに「避難行動要支援者」として定義づけられました。このことから、大阪市においても「避難行動要支援者」と表記を変更します。

戦略3 - 1の具体的取組

【3 - 1 - 1 地域防災活動拠点としての機能確保と体制整備に向けた取組】

新規

- ・ 準広域避難場所としての蒲生公園の整備
[区CM事業（教育委員会事務局所管）分含む]

H25 決算額	- 千円	H26 予算額	- 千円	H27算定 見込額	40,615千円
------------	------	------------	------	--------------	----------

【業績目標】

区民モニターにおいて、地域防災活動拠点として整備に取り組んでいることを知っている区民の割合30%以上

【撤退基準】

上記目標を達成できなかった場合、情報発信の手法を再構築する。

【前年度までの実績】

27年度新規事業

【3 - 1 - 2 防災意識の向上】

地域での防災訓練の充実

- ・ 中学校で生徒参加の防災訓練を開催（年1回）
- ・ 各地域での防災訓練の充実
出前講座の開催
- ・ 子育てサークルや、マンション住民等を対象に、世代や居住形態ごとに合わせた出前講座を開催する。

H25 決算額	14,153千円	H26 予算額	19,884千円	H27算定 見込額	18,537千円
------------	----------	------------	----------	--------------	----------

【業績目標】

区民モニターにおいて、自主的な防災活動に参加したことのあると回答した区民の割合30%以上

【撤退基準】

前年度実績を下回った場合、手法について再構築する。

【前年度までの実績】

区民モニターにおいて、自主的な防災活動に参加したことのあると回答した区民の割合は23.9%

【3 - 1 - 3 避難行動要支援者情報の共有】

- ・ 調査員による要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備
[「2-2-1（仮称）地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」の一部を再掲]

H25 決算額	- 千円	H26 予算額	- 千円	H27算定 見込額	- 千円
------------	------	------------	------	--------------	------

【業績目標】

対象高齢者の70%の名簿整備を行う

【撤退基準】

50%に達しなければ実施手法を再構築する

【前年度までの実績】

27年度新規事業

【戦略3 - 2】

犯罪の少ない安全・安心なまちづくり

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・地域防犯活動に多くの住民が参加し、地域コミュニティの防犯力を向上させることで、安全・安心に感じて暮らすことができる状態

《成果目標》

- ・区民モニターで住んでいる街が安全・安心だと感じる区民の割合を平成29年度末までに75%にする（現在63.7%）

戦略

- ・犯罪の少ない安全・安心なまちづくりを目指して、地域および警察と連携協働して、青色防犯パトロール車の貸出、防犯カメラの設置を行うとともに、子ども見守り活動等の地域防犯活動を積極的に支援し、地域コミュニティの防犯力を向上させる。

窓口 ちょこっと！案内コーナー

パトロールで子どもたちを守る！

子どもたちが犯罪や事故に巻き込まれないよう、午前中は保育所(園)・幼稚園周辺を中心に巡視パトロールを行ない、園外保育の際には引率のサポートもしています。

小学校の下校時間帯には、子どもたちへ声かけをしながら校区の巡視パトロールをしています。また、街頭犯罪を抑止するためにも、機動力と活動範囲を広げた青色防犯パトロール車での警戒も行なっています。

問合せ 市民協働課(防災・防犯) 電話:06-6930-9045



城東区地域安全防犯チーム
マスコットキャラクター
J TAT(ジェイ タット)

戦略3 - 2の具体的取組

【3 - 2 - 1 地域コミュニティによる防犯力の向上】

新規

- ・青色防犯パトロール車の普及・啓発（16校下）
- ・子ども見守り活動等の地域防犯活動への支援

【業績目標】

区民モニターにおいて、地域での防犯活動に参加したいという方の割合（複数回答あり）について、子ども見守り活動40%以上、青色防犯パトロール15%以上を目指す。

【撤退基準】

前年度実績を下回った場合、手法について再構築する。

【前年度までの実績】

区民モニターにおいて、地域での防犯活動に参加したいという方の割合（複数回答あり）は、子ども見守り活動36.7%、青色防犯パトロール10%

H25 決算額	2,089千円	H26 予算額	7,412千円	H27算定 見込額	5,891千円
------------	---------	------------	---------	--------------	---------

【3 - 2 - 2 犯罪抑止力の向上】

- ・防犯カメラの設置

【業績目標】

10台設置

【撤退基準】

6台以下の場合、事業を再構築する。

【前年度までの実績】

10台設置で調整中

H25 決算額	1,623千円	H26 予算額	3,142千円	H27算定 見込額	3,382千円
------------	---------	------------	---------	--------------	---------

